

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築設計製図 1（実習）			通期		教科担任：山本 幹雄			
学科名： 建築科			コース：			1 年	単位数： 2 単位	
授業のねらい		木造建築物を中心に基礎的な建築設計製図に関する演習を実施する。				前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H	
目指す検定・資格		目標 2 級建築士				教材費		
テキスト・教材		2 級建築士新体系テキスト（設計製図） 図説やさしい建築計画 製図セット						
評価方法		前期 試験 課題 後期 試験 課題				その他		
時数	単元		授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	基本製図		道具の使い方、線、矩形の描き方、文字の描き方					2
2	↓							2
3	↓							2
4	製図規約							2
5	↓							2
6	↓							2
7	設計に用いられるいろいろな図面		図面の分類とその役割、各種図面の表記事項と描き方					2
8	↓							2
9	↓							2
10	↓							2
11	計画手順		計画の基本的な考え方・問題文を読み取るポイント・プランニングの進め方・計画の留意点等					2
12	↓							2
13	↓							2
14	↓							2
15	↓							2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。							

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築計画 1（講義）			通期		教科担任：山本絵里子			
学科名： 建築科			コース：			1 年	単位数：	2 単位
授業のねらい			人間の行動を理解し、建築を計画、デザインするための基礎知識を身に付け各空間を計画するうえで重要な事項を学習する。				前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格			目標 2 級建築士 2 級建築施工管理技士				教材費	
テキスト・教材			2 級建築士学科新体系テキスト(計画) 2 級建築士学科新体系問題集(計画) 改訂版建築計画を学ぶ建築計画教材研究会 製図セット					
評価方法			前期 試験・課題 後期 試験・課題				その他	
時数	単元		授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	建築計画とは		建築をつくる、空間構成とは					2
2	↓							2
3	↓							2
4	建築を作る行為と建築技術者の役割							2
5	↓							2
6	↓							2
7	↓							2
8	モジュラーコーディネーション		モジュロール・プレファアプリケーション等					2
9	↓							2
10	面積算定・寸法設計の概要		商業建築・各部寸法等					2
11	↓							2
12	住宅		一戸建住宅・高齢者への配慮等					2
13	↓							2
14	↓							2
15	↓							2
その他	”期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。”							

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築環境工学 1（講義）			通期		教科担任：矢萩 東邦（実務経験教員）		
学科名： 建築科			コース：			1 年	単位数： 2 単位
授業のねらい		建築系企業経験を活かし、建築環境工学が建築設計にどのように活かされ、また建築物を取り巻く外界状況（都市・地球環境）についてを理解・習得する。				前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 二級建築士				教材費	
テキスト・教材		二級建築士新体系テキスト「計画」,新体系問題集「計画」 初学者の建築講座「建築環境工学」（第三版）					
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題				その他	
時数	単元	授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	建築環境工学の役割						2
2	↓						2
3	室内環境	温熱要素・環境側の要素・人体側の要素・温熱指標・E T・S E T・O T・空気線図・空気環境汚染					2
4	↓	シックハウス・ホルムアルデヒド・クロルピリホス等					2
5	↓						2
6	↓						2
7	↓						2
8	換気	自然換気・機械換気・必要換気量・風力による換気・温度差による換気・全般換気・局所換気・計画換気					2
9	↓	定常状態の汚染質濃度・必要換気量の基準・換気回数計算等					2
10	↓						2
11	伝熱・結露	熱の移動・壁体の伝熱・伝熱の指標・伝熱の計算・結露現象・結露の防止対策等					2
12	↓						2
13	↓						2
14	↓						2
15	↓						2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。						

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築設備 1（講義）			通期		教科担任：後藤 拓			
学科名： 建築科			コース：			1 年	単位数：	2 単位
授業のねらい			快適な室内環境形成や維持のため、換気・暖房・冷房等・消火、排煙・ガス・電気設備等について学習する。				前期 後期 合計	4H×15W = 60H 4H×15W = 60H 120H
目指す検定・資格			目標 2 級建築士 2 級建築施工管理技士				教材費	
テキスト・教材			"2 級建築士学科新体系テキスト（計画） 2 級建築士学科新体系問題集（計画） 初学者の建築講座 建築設備製図セット"					
評価方法			前期 試験・課題 後期 試験・課題				その他	
時数	単元		授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	建築設備概論		建築設備と設備計画等					4
2	↓							4
3	↓							4
4	換気、日照・日射、熱							4
5	↓							4
6	↓							4
7	空気調和設備		空気調和設備の計画・各部の計画・空調の種類・省エネルギー空調方式・暖房設備等					4
8	↓							4
9	↓							4
10	↓							4
11	給排水衛生設備		給水設備計画・給湯設備計画・排水設備計画・衛生設備・排水再利用設備・雨水利用設備等					4
12	↓							4
13	照明設備		照明方式・照明基準・照明計算・自動制御等					4
14	↓							4
15	↓							4
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。							

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 構造力学 1 （講義）			通期		教科担任：山本 絵里子			
学科名：			コース：			1 年	単位数：	2 単位
授業のねらい			力を数量的にあつかう力学の基礎を学ぶ。部材の応力を算定するための基本的な考え方を修得する。力の釣合式のみで解ける静定構造物全般についての反力・応力・応力図が算定できる能力を得ることを目的とする。				前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格			目標 2 級建築士 2 級建築管理技士				教材費	
テキスト・教材			2 級建築士学科新体系テキスト(構造) 2 級建築士学科新体系問題集(構造) 初学者の建築講座建築構造力学図解入門					
評価方法			前期 試験・課題 後期 試験・課題				その他	
時数	単元		授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	数理的知識を把握数学の基礎		微分・積分、ベクトル					2
2	↓							2
3	↓							2
4	↓							2
5	力学の基本法則		運動方程式、質量と運動量、モーメント、次元と単位、力の合成と分解					2
6	↓							2
7	↓							2
8	↓							2
9	↓							2
10	微分方程式の解法		微分方程式、初期条件					2
11	↓							2
12	↓							2
13	↓							2
14	↓							2
15	↓							2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。							

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築一般構造 1（講義）			通期		教科担任：山本 絵里子				
学科名： 建築科			コース：			1 年	単位数：	2 単位	
授業のねらい		建築の構造を学ぶうえで、知っておかなければならない基礎的な知識を、木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造を中心に学習する。					前期	2H×15W = 30H	
							後期	2H×15W = 30H	
							合計	60H	
目指す検定・資格		目標 2 級建築士 2 級建築管理技士					教材費		
テキスト・教材		2 級建築士学科新体系テキスト（構造） 2 級建築士学科新体系問題集（構造）							
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題					その他		
時数	単元		授業内容（細目）					学習上の留意点	実時数
1	建築構造とは		建物の色々な形、事例紹介等						2
2	↓								2
3	↓								2
4	構造力学の概要								2
5	↓								2
6	↓								2
7	鉄筋コンクリート構造		鉄筋コンクリートの性質・部材算定・コンクリートのひび割れと耐久性・壁式構造関係等						2
8	↓								2
9	↓								2
10	↓								2
11	鉄骨構造		鋼材の分類・鋼材の性質・形鋼・部材の設計・接合方法等						2
12	↓								2
13	↓								2
14	↓								2
15	↓								2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。								

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築材料 1（講義）			通期		教科担任：山本 幹雄			
学科名：			コース：			1 年	単位数：	2 単位
授業のねらい			建築物等使用される木材・鋼材・コンクリート等の材料別の特徴について学習する。			前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H	
目指す検定・資格			目標 2 級建築士 2 級建築管理技士			教材費		
テキスト・教材			2 級建築士学科新体系テキスト（構造） 2 級建築士学科新体系問題集（構造）					
評価方法			前期 試験・課題 後期 試験・課題			その他		
時数	単元		授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	建築材料とは		JIS, 建築基準法, 建築工事標準仕様書など含む					2
2	↓							2
3	↓							2
4	↓							2
5	木質材料		合板・構造用集成材・単板積層材・パーティクルボード・ファイバーボード・木質建材の使用制限等					2
6	↓							2
7	↓							2
8	↓							2
9	セメント・コンクリート		セメントによるコンクリートの特徴・骨材・フレッシュコンクリート・コンクリート製品等					2
10	↓							2
11	↓							2
12	↓							2
13	↓							2
14	石材・タイル等		岩石の種類・石材の性質・左官材料・焼成温度による分類・タイル・瓦等					2
15	↓							2
その他	”期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。”							

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築生産 1（講義）			通期		教科担任：山本 幹雄(実務経験教員)			
学科名： 建築科			コース：			1 年	単位数：	2 単位
授業のねらい			現場実務の経験を生かした基本的な知識と実践的な知識の習得を目指します。			前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H	
目指す検定・資格			目標 2 級建築士 木造建築士			教材費		
テキスト・教材			平成 29 年度 2 級建築士学科 新体系テキスト 施工 2-施					
評価方法			前期 試験 後期 試験			その他		
時 数	単元		授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	建築施工現場のあらまし		建築施工の特徴と建設業、建築施工に携わる人々					2
2	↓							2
3	施工計画		施工計画書・工程表等					2
4	地盤調査・測量		地盤調査の種類・敷地測量・工事測量等					2
5	↓							2
6	施工管理		工事関係者・設計図書・工事管理業務・渉外諸手続き等					2
7	↓							2
8	↓							2
9	↓							2
10	仮設工事		仮設物・足場・災害防止対策等					2
11	土工事・地業工事・基礎工事							2
12	↓							2
13	主体工事・鉄筋工事・型枠工事							2
14	↓							2
15	↓							2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。							

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築特講座（講義）			通期		教科担任：山本 幹雄			
学科名： 建築科			コース：			1 年	単位数：	2 単位
授業のねらい		建築士としての将来を見据えて必要な様々な知識、実 際を身に着ける 二級建築士試験の対策・強化				前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H	
目指す検定・資格						教材費		
テキスト・教材		二級建築士試験参考書・問題集 プリント他						
評価方法		前期 課題 後期 課題				その他		
時 数	単元	授業内容（細目）				学習上の留意点		実時数
1	オリエンテーション	二級建築士試験について				二級建築士試験 の要綱による		2
2	計画分野	計画分野の補足・強化 試験対策				計画分野の二級 建築士問題集を 使い補足		6
3	環境分野	環境分野の補足・強化 試験対策				環境分野の二級 建築士問題集を 使い補足		6
4	外部講師招聘	計画・環境分野の外部講師の招聘、授業 「講師の都合により変更有」				「講師の都合に より変更有」		2
5	構造分野	構造分野の補足・強化 試験対策				構造分野の二級 建築士問題集を 使い補足		6
6	建物見学	各自の注目する建築物の見学 レポート						4
7	法規分野	建築法規分野の補足・強化 試験対策				法規分野の二級 建築士問題集を 使い補足		6
8	外部講師招聘	法規分野専門の外部講師の授業				「講師の都合に より変更有」		2
9	材料分野	建築材料の分野の補足・強化				計画分野の二級 建築士問題集を 使い補足		6
10	材料実習	実際に使われる建築材料を使った実習				コンクリート利 用の施工実習		4
11	建築家研究	各自の選んだ有名建築家の作品研究 レポート				欧米建築家の研 究		4
12	外部講師招聘	施工分野での外部講師の招聘授業				「講師の都合に より変更有」		2
13	建物見学	各自の自由課題による建物見学 レポート				各自近隣の建築を 選び研究		4
14	二級建築士試験演習	二級建築士試験対策としての各自の演習 問題集による課題の発見				試験図面の演習		6
そ の 他								

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 都市デザイン1（講義）			通期	教科担任：山本 幹雄（実務経験教員）		
学科名： 建築科			コース：		1 年	単位数： 2 単位
授業のねらい		建築系企業の経験を生かした指導をし、人々が生活する場である街という概念を理解し、その街を作り上げる要素を理解することで、より良い都市のデザインにつなげる。			前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格					教材費	
テキスト・教材		プリント・専門雑誌等				
評価方法		前期 課題 後期 課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	都市とは何か 街とは何か 都市と建築			都市とは単に人が集まり生活を行うものなのか。 都市の機能とは	2
2	街を構成するものの練習	近隣へのフィールドワーク 街並みとは 街並みを構成するものとは レポート			フィールドワークを通して自分の住む街を再確認する 街並みという考え方を理解する	6
3	空間	街を構成する大きな空間 空間と人の流れ 空間心理学			街を構成するスケールとは 街における空間の認識	4
4	歴史的街並み	歴史的街並みの実例研究 街並み保全の取り組みについて			歴史的景観の美しさを認識し、 街並みの特徴を考える。	4
5	日本の街並み	日本における歴史的街並み 通り 政治・経済・宗教			色々な街並みを調査研究し、 それぞれの特徴・美しさを考える 政治経済宗教による街並み	4
6	各国の街並み	西洋における街並み 広場、通り、 政治・経済・宗教			欧米、アジアの街並みの特徴を調べ、それぞれの特徴を捉える	6
7	近代における街並み	近代の街並みデザイン 現代日本の街並みデザイン			近代での街並みのデザインとそのコンセプトを調べ、 人々の行動を考える	4
8	都市計画	都市計画とは 都市計画の考え方			都市計画とは何か 都市計画の用語 考え方を学ぶ	6
9	外構と街	外構と街並み 外構設計			建築物の外構とは その意味と利用方法	6
10	地域における街並みの見学	山形における街並みの構成見学 レポート			各自の調査対象を決め街並みを研究し、まとめ、発表する。	6
11	都市と人	都市と人の関係、街と人の関係 都市における人の流れ			都市間の人の流れ 街と街とのつながり	4
12	都市の未来	各国・日本における新しい都市デザインの在り方とは			新しい街並みの構成とは 現在の都市計画の流れと人の動きを考える	6
13	予備	演習等			補講	2
その他						

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： デッサン（実習）			通期		教科担任：長谷川 雅則			
学科名： 建築科			コース：			1 年	単位数： 2 単位	
授業のねらい			実務経験のある教員の指導の下、デッサンを通して立体の把握、プロポーション比例のしくみを目で感じ取り、手で表現することを目指す。また、立体造形では粘土を用いてモチーフを自分なりのオリジナリティーあふれる表現をすることをねらう。				前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格							教材費	1,000 円
テキスト・教材			スケッチブック 鉛筆 練り消しゴム					
評価方法			課題 出席状況 学習態度等を総合して評価する				その他	
時数	単元		授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	デッサン		身近なものをスケッチする。				紙と鉛筆になれる	2
2	デッサン		円筒形(石膏)を描く				紙の真中に納める	2
3	デッサン		円錐形(石膏)を描く				縦 横 奥行のバランス	2
4	デッサン		クララ像（石膏）を描く				縦 横 奥行のバランス	2
5	デッサン		アグリッパ像（石膏）を描く 半面				縦 横 奥行の バランス 陰影のグラデーション	2
6	デッサン		アグリッパ像（石膏）を描く 半面				縦 横 奥行の バランス 陰影のグラデーション	2
7	デッサン		アグリッパ像（石膏）を描く 半面				縦 横 奥行の バランス 陰影のグラデーション	2
8	デッサン		アグリッパ像（石膏）を描く 半面				縦 横 奥行の バランス 陰影のグラデーション	2
9	デッサン		アグリッパ像（石膏）を描く 半面				縦 横 奥行の バランス 陰影のグラデーション	2
10	デッサン		自画像を描く				縦 横 奥行の バランス 陰影のグラデーション	2
11	デッサン		自画像を描く				縦 横 奥行の バランス 陰影のグラデーション	2
12	デッサン		自画像を描く				縦 横 奥行の バランス 陰影のグラデーション	2

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

13	デッサン	人体クロッキーを描く	体のプロポーション 動きを捉える。	2
14	デッサン	人体クロッキーを描く	体のプロポーション 動きを捉える。	2
15	デッサン	人体クロッキーを描く	体のプロポーション 動きを捉える。	2
その他				

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：建築法規（講義）			通期		教科担任：山本 絵里子		
学科名： 建築科			コース：		1 年		単位数： 2 単位
授業のねらい		建築物等に関する基準等を定めた法令及び建築行政等について学習する。			前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H	
目指す検定・資格		2 級建築士			教材費		
テキスト・教材		2 級建築士 学科 新体系テキスト（法規） 2 級建築士 学科 新体系問題集（法規）					
評価方法		期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数	
1	建築士法	総則・免許等・業務・建築士事務所・雑則・罰則等				4	
2	建設業法	用語の定義・建築業の許可・建設工事の請負契約・雑則等				4	
3	建築基準法	用語の定義				4	
4	↓	建築手続き				4	
5	↓	防火非難関係				4	
6	↓	一般構造規定				4	
7	↓	建築設備				4	
8	↓	構造強度				6	
9	↓	都市計画区域等における制限				6	
10	↓	建築協定				6	
11	↓	雑則				4	
12	関係法令	都市計画法・消防法・高齢者等の移動等の円滑化の促進に関する法律				2	
13	↓	建築物の耐震改修の促進に関する法律				2	
14	↓	住宅の品質確保の促進等に関する法律				2	
15	↓	特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律				2	
16	↓	長期優良住宅の普及の促進に関する法律・宅地造成等規則法・宅地建物取引業法				2	
その他	授業の他、課題により、学習内容を定着させる。						

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：ビジネス実務（講義）			前期・ 後期 ・通期	教科担任： 太田香代	
学科名：進級年次 1 年生			コース：		単位数： 2 単位
授業のねらい		卒業後の希望進路に向けて、自分のキャリアを自分の意志で作っていくため、自己理解と仕事理解を深め、これを基本としてグループワークを行いながら、時には自分自身に問いかけながら、自己実現に向かって進むことがねらい。 ビジネスマナーを習得し、就職活動等の希望進路に自信を持って臨めるようにする。		前 期 後 期 合 計	2H×15W=30H 30H
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材		『マイロード2 1』 キャリアファイル			
評価方法		後期：模擬面接にて評価		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	就活ワークショップ② 9/30	自己分析を深めるワーク		キャリアカウンセラーによる指導	2
2	就職研究会 10/7	卒業生と交流		社会人より話を聞き、就職活動を詳しく知る。	2
3	企業研究 10/8 予定	企業研究		履歴書の書き方、様式を知る。	2
4	就職活動準備 10/14	履歴書の作成 実践①クレペリン検査実施		自己分析を深める。	2
5	就職活動準備 10/21	履歴書の作成 実践② 一般常識テスト実施		自己分析から志望動機を書けるようにする。	2
6	就職活動準備 10/28	受験書類の提出マナー		封筒の宛名の書き方、郵送の仕方を知る。	2
7	就職活動準備 11/4	面接試験 入退室他マナー 面接試験 応答練習		実践を通して、自信をもって就職活動の準備ができるようにする。	2
8	就職活動準備 11/11	①入社準備 内定期間中の過ごし方 就業の心得 電話・来客応対 ②未内定者の就職試験対策 面接指導・履歴書指導など ③SPI テスト実施		自己分析を深める。	2
9	就職活動準備 11/18			社会人になるにあたってのマナー・知識を習得するとともに、未内定者の就職試験合格を目指す。	2
10	就職活動準備 11/25				2
11	就職活動交流会 12/2	就職内定者の話を聞き、就職活動の具体的なイメージを持つ。		就職活動の準備ができるようにする。	2
12	就職活動準備	① 教養講座 12/9		社会人になるにあたってのマナー・知識を習得するとともに、未内定者の就職試験合格を目指す。	2
13		② 就職交流会 12/116			2
14		③ 履歴書提出等、模擬面接への準備 1 12/23			2
15		④ 履歴書提出等、模擬面接への準備 2 1/13			2
その他	なお、上記授業のほか、課題を課すものとする。 ・模擬面接（1/20 予定） ・2/3 就活ワークショップ 6H				

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：ビジネス実務1（講義）			通期		教科担任：堀川 栄美子	
学科名：進級年次			コース：		1 年	単位数：2 単位
授業のねらい		卒業の希望進路に向けて、自分のキャリアを自分の意志で作っていくためには、自己理解と仕事理解が基本となる。グループワークを行いながら、時には自分自身に問いかけながら、自己実現に向かって進んでいく。			前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格					教材費	
テキスト・教材		『未来ノート』『マイロード21』 『就職 一般常識トレーニングブック』				
評価方法		前期 レポート・課題 出席状況を総合する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	就職オリエンテーション	就職に向けて 2年間の心構え		卒業生の状況理解と、2年間の目標を設定する		
2	未来ノート1	チーム学修を進めるために 「話し合いの意義」		チーム学習の意義を知る。 メンバー同士の関わり方を身につける		
3	未来ノート2	自己理解 「私の大切なもの探し」		自分の価値観についてチームで共有し、人それぞれの価値観があることを知る		
4	未来ノート3	自己理解 「私ってどんな人？」		自分を他者に伝えることを意識して、自己イメージを言葉にできるようになる		
5	未来ノート4	自己理解 「自分を知る手がかり」		他者は自分が成長するために大切な存在であることを知る		
6	未来ノート5	自己理解 「過去を振り返ろう」		自分の人生に対する心構えの根っこにあるものに気づき、自分らしさを考える		
7	未来ノート6	自己理解 「なぜ働くの？」		メンバーの考えを聴きあい、多様な価値観を受け入れられるようになる		
8	未来ノート7	仕事理解 「地図を作ってみよう」		自分のコミュニケーション特性を知り、円滑なコミュニケーションの取り方を体得する		
9	就活ワークショップ1	入学から2か月後の振り返りとこれからのキャリアプランニング		2か月の経験から感じたことを大切にし、未来へのプランニングを行う		
10	未来ノート8	仕事理解 「ケーススタディで学ぶ実際の仕事」		組織人としての行動、役割について考える。		
11	未来ノート9	仕事理解 「インタビューしてみよう」		実際に働いている人にインタビューすることで、仕事を自分に引き寄せて考える		
12	未来ノート10	仕事選択 ～未来に向けて～ 「模擬店を出そう」①		全体目標達成のための組織人としての役割・協働を考える		
13	未来ノート11	仕事選択 ～未来に向けて～ 「模擬店を出そう」②		全体目標達成のための組織人としての役割・協働を考える		
14	未来ノート12	仕事選択 ～未来に向けて～ 「未来ページ」		自己理解と仕事理解をマッチさせ、キャリアの目標を設定する		
15	前期総括	前期まとめ		就職準備期の後期に向けて、キャリア目標を明確にする		
その他						

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：キャリア実習 1（実習）			後 期		教科担任：クラス担任	
学科名：建築科			コース：		1 年	単位数：2 単位
授業のねらい		外部組織での就労体験、ボランティア体験等を通し、他者とのコミュニケーション力や、組織内での責任、協調性を学び、就労意欲と職業観を養う。実習前後は、諸手続き・報告を滞りなく実行し、事務力を高める。自分自身の今後の成長課題を再認識し、在学中の向上を目指す。			後期 合計	15H×2W = 30H 30H
目指す検定・資格		特になし			教材費	
テキスト・教材		特になし				
評価方法		後期 所定時間の学外実習 レポート 報告を壮語して評価する			その他	
時 数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	年度の実習概要説明 実習目的・実習規程			実習の目的を理解する。また、担任のアドバイスを受け実習に臨む。	
2	学外実習	実習前 実習 実習後	指定の届け出を行う。 所定の時間数以上を実習する。 所定報告書の提出			
3	報告会	全校報告会 他学生に自分自身の実習内容・今後の課題等を報告する			プレゼンテーションのトレーニングの場であるとともに、他者の報告を積極的に傾聴し、自己の課題として共有する。	
その他						

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築設計製図 2（実習）			通期		教科担任：山本 絵里子		
学科名： 建築科			コース：			2 年	単位数： 4 単位
授業のねらい		木造建築物を中心に基礎的な建築設計製図に関する演習を実施する。				前期 後期 合計	4H×15W = 60H 4H×15W = 60H 120H
目指す検定・資格		目標 2 級建築士				教材費	
テキスト・教材		2 級建築士新体系テキスト（設計製図） 図説やさしい建築計画 製図セット					
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題				その他	
時数	単元	授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	基本製図	線、矩形の描き方、文字の描き方復習					4
2	↓						4
3	↓						4
4	計画と設計の流れ	図面の尺度、ゾーニングとエスキス、色彩、素材表現法など					4
5	↓						4
6	↓						4
7	建築造形の基本と投影法						4
8	↓						4
9	↓						4
10	↓						4
11	インテリア設計と製図						4
12	↓						4
13	↓						4
14	↓						4
15	↓						4
その他	”期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。授業他、課題により学習内容を定着させる。”						

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築計画 2（講義）			通期		教科担任：山本 絵里子			
学科名： 建築科			コース：			2 年	単位数：	2 単位
授業のねらい		人間の行動を理解し、建築を計画、デザインするための基礎知識を身に付け各空間を計画するうえで重要な事項を学習する。				前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H	
目指す検定・資格		目標 2 級建築士 2 級建築施工管理技士				教材費		
テキスト・教材		2 級建築士学科新体系テキスト(計画) 2 級建築士学科新体系問題集(計画) 改訂版建築計画を学ぶ建築計画教材研究会 製図セット						
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題				その他		
時数	単元		授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	建築計画とは		風土、文化、社会、健康と建築との関わり等					2
2	↓							2
3	↓							2
4	建築を作る行為と建築技術者の役割		デザインすることの意味、設計の方法、建築における業種役割等					2
5	↓							2
6	↓							2
7	↓							2
8	人間工学と心理から見る動線の計画と人体寸法							2
9	↓							2
10	面積算定・寸法設計の概要		共建築面積規模・各部寸法等					2
11	↓							2
12	住宅		三世代住宅・高齢者への配慮等					2
13	↓							2
14	集合住宅		メゾネット型・リビングアクセス型・ポイントハウス型等					2
15	↓							2
その他	”期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。授業他、課題により学習内容を定着させる。”							

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築環境工学 2（講義）			通期		教科担任：矢萩 東邦		
学科名： 建築科			コース：			2 年	単位数： 2 単位
授業のねらい		建築環境工学が建築設計にどのように活かされ、また建築物を取り巻く外界状況（都市・地球環境）について理解・習得する。				前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 二級建築士				教材費	
テキスト・教材		二級建築士新体系テキスト「計画」,新体系問題集「計画」 初学者の建築講座「建築環境工学」(第三版)					
評価方法		前期 試験 後期 試験				その他	
時数	単元	授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	室内環境	温熱要素について				各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
2		温熱指標について				各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
3		空気線図について（空気線図の使い方）				各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
4		空気線図について（飽和水蒸気量、飽和水蒸気圧力 他）				各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
5		室内空気汚染について				各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
6	換気	自然換気について				各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
7		機械換気について				各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
8		必要換気量について（換気量の計算）				各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
9	伝熱・結露	熱の移動について				各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
10		壁体の伝熱について				各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
11		伝熱の指標について				各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
12		伝熱計算について				各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
13		結露現象について				各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
14		結露対策について				各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

15		断熱性と熱容量について	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。			

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築設備 2（講義）			通期		教科担任：後藤 拓		
学科名： 建築科			コース：			2 年	単位数： 4 単位
授業のねらい		建築設備の中の給排水衛生設備・空気調和設備についての基礎知識を身に付ける				前期 後期 合計	4H×15W = 60H 4H×15W = 60H 120H
目指す検定・資格		目標 2 級建築士 2 級建築施工管理技士				教材費	
テキスト・教材		"2 級建築士学科新体系テキスト（計画） 2 級建築士学科新体系問題集（計画） 初学者の建築講座 建築設備製図セット"					
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題				その他	
時数	単元	授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	建築設備概論	建築設備の役割、種類と構成				建築設備の役割種類について理解させる	4
2	給排水衛生設備(1)	給水設備				給水方式・管径計算を理解させる	4
3	↓	給湯設備				計給湯方式給湯量と給湯量料の算を理解させる	4
4	↓	ガス設備				ガスの種類と性質供給方式を理解させる	4
5	↓	排水・通気設備				排水方式管径計算を理解させる	4
6	↓	衛生器具設備				器具の概要設備計画について理解させる	4
7	↓	消火設備				消火設備の基本事項揚程計算について理解させる	4
8	空気調和設備	空気調和と室内環境				室内環境基準評価指標について理解させる	4
9	↓	空気の状態を知る				空気線図の使い方・空調への応用について理解させる	4
10	↓	空調負荷の考え方				負荷の概要と条件計算方法について理解させる	4
11	↓	空気調和方式の種類・特徴と設備計画				空気調和方式熱源方式の種類を理解させる	4
12	↓	熱源・熱搬送設備と熱源				熱搬送設備室内ユニットについて理解させる	4
13	↓	換気・排煙設備				換気の目的換気計算について理解させる	4

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

14	↓	自動制御設備	方法及び制御機器について理解させる	4
15	↓	図面トレース・機器・器具の選択	各設備図面について理解を深めさせる	4
その他	”期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。授業他、課題により学習内容を定着させる。”			

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 構造力学 2（講義）			通期		教科担任：山本 絵里子			
学科名： 建築科			コース：			2 年	単位数：	2 単位
授業のねらい			力を数量的にあつかう力学の基礎を学ぶ。部材の応力を算定するための基本的な考え方を修得する。力の釣合式のみで解ける静定構造物全般についての反力・応力・応力図が算定できる能力を得ることを目的とする。				前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格			目標 2 級建築士 2 級建築管理技士				教材費	
テキスト・教材			2 級建築士学科新体系テキスト(構造) 2 級建築士学科新体系問題集(構造) 初学者の建築講座建築構造力学図解入門					
評価方法			前期 試験・課題 後期 試験・課題				その他	
時数	単元		授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	概論・構造力学 I 復習		力の三要素、力の図示法、外力と内力、反力の求め方、応力、応力図、 応力度					2
2	↓							2
3	片持梁型と単純梁型ラーメンの解法		ヒンジラーメン・特殊なラーメンの解法					2
4	↓							2
5	↓							2
6	↓							2
7	↓							2
8	トラスの数式解法と図式解法		トラス、節 点法、リッターの切断法、 クレモナ図法					2
9	↓							2
10	↓							2
11	短柱と長柱の差異、座屈応力度の求め方、座屈の危険性の判断		座屈、座屈荷重、座屈応力度、座屈 長さ、細長比					2
12	↓							2
13	↓							2
14	問題練習及び現場見学							2
15	↓							2
その他	〃期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。授業他、課題により学習内容を定着させる。〃							

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築一般構造 2（講義）			通期		教科担任：山本 絵里子			
学科名： 建築科			コース：			2 年	単位数：	2 単位
授業のねらい		建築の構造を学ぶうえで、知っておかなければならない基礎的な知識を、木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造を中心に学習する。				前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H	
目指す検定・資格		目標 2 級建築士 2 級建築管理技士				教材費		
テキスト・教材		" 2 級建築士学科新体系テキスト（構造） 2 級建築士学科新体系問題集（構造） "						
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題				その他		
時数	単元		授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	建築構造の概要		①構法の変遷②分類③建築上の留意点					2
2	↓							2
3	↓							2
4	木構造		①木構造の特徴②構造形式③木材④軸組構法⑤枠組壁構法⑥構造用大断面集成材を用いた構造					2
5	↓							2
6	↓							2
7	↓							2
8	↓							2
9	↓							2
10	↓							2
11	鉄筋コンクリート構造		①鉄筋コンクリート構造の原理と特徴②構造形式③鉄筋とコンクリート④配筋の基本⑤基礎⑥主体					2
12	↓							2
13	↓							2
14	↓							2
15	↓							2
その他	"期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。"							

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築材料 2（講義）			通期		教科担任：山本 幹雄			
学科名： 建築科			コース：			2 年	単位数：	2 単位
授業のねらい			建築物等使用される材料を工事別に学習する。				前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格			目標 2 級建築士 2 級建築管理技士				教材費	
テキスト・教材			2 級建築士学科新体系テキスト（構造） 2 級建築士学科新体系問題集（構造） 世界で一番やさしい建築材料					
評価方法			前期 試験・課題 後期 試験・課題				その他	
時 数	単元		授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	地盤・基礎・仮設工事		地盤調査/解体・処分/地盤改良/基礎/足場					2
2	↓							2
3	↓							2
4	↓							2
5	躯体工事		仕口・継手/建方/在来軸組工法・桝組壁工法/小屋組/防火・耐火セメント・コンクリート					2
6	↓							2
7	↓							2
8	↓							2
9	屋根・サッシ		屋根下地/瓦・スレート・金属屋根/防水工事の種類					2
10	↓							2
11	↓							2
12	↓							2
13	↓							2
14	内装		木質系材料・自然材料/壁・天井仕上げ					2
15	↓							2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。							

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築生産 2（講義）			通期		教科担任：山本 幹雄		
学科名： 建築科			コース：		2 年	単位数：	2 単位
授業のねらい			現場実務の経験を生かした基本的な知識と実践的な知識の習得を目指します。			前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格			目標 2級建築士 木造建築士			教材費	
テキスト・教材			平成 29 年度 2 級建築士学科 新体系テキスト 施工 2-施				
評価方法			前期 試験 後期 試験			その他	
時 数	単元		授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	防 水 ・ シ ー リ ン グ ・ 屋根工事		モニターを活用し、教科書の内容が理解できるように努める。			専門用語、特定の数字を捉えられるよう指導を行う。	2
2	防水・シーリング ・ 屋根工事		〃			〃	2
3	防水・シーリング ・ 屋根工事		〃			〃	2
4	防水・シーリング ・ 屋根工事		〃			〃	2
5	左官・タイル ・ 張り石工事		〃			〃	2
6	左官・タイル ・ 張り石工事		〃			〃	2
7	左官・タイル ・ 張り石工事		〃			〃	2
8	建具・ガラス工事		〃			〃	2
9	建具・ガラス工事		〃			〃	2
10	建具・ガラス工事		〃			〃	2
11	内装・断熱工事		〃			〃	2
12	内装・断熱工事		〃			〃	2
13	試験の解説		〃			〃	2
14	塗装・吹付け工事		〃			〃	2
15	塗装・吹付け工事		〃			〃	2
その他	〃期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。〃						

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：色彩計画（講義）			通期		教科担任：梅津 隆雄			
学科名： 建築科			コース：		2 年		単位数： 2 単位	
授業のねらい			カラーコーディネートとは誰もが日常で行っていることであり、自分の主張を発揮できる分野である。それだけに、独りよがりにならぬよう、時代や地域の嗜好など様々な知識が求められる。			前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H		
目指す検定・資格			目標 東京商工会議所主催 取得可能な検定 カラーコーディネーター検定試験 2 級			教材費 7,452		
テキスト・教材			カラーコーディネーター検定試験 2 級 公式テキスト カラーコーディネーター検定試験 2 級 問題集					
評価方法			前期 試験 後期 試験			その他		
時数	単元		授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	カラーコーディネーションの意義		カラーコーディネーションの際に考慮すべき基礎事項			カラーコーディネーションをする時に、実務に必要な色彩の発想や企画について学ぶ。		4
2	色彩の歴史的展望と現状		近現代のデザインとカラーの歴史 色彩の文化史			近代デザイン・カラーの歴史と、それを取り巻く社会の変化、今日のデザインとの関係を学ぶ。		4
3	〃		自然界と身近な色彩的特徴			動物、植物等の色を理解し、生活における身近な例として建築物や繊維の色の特徴について学ぶ。		4
4	生活者の視点からの色彩		色の見えに影響を与える要因 色の味方の多様性とカラーユニバーサルデザイン			色の見えに影響を与える要因について知識を深め、その特性を理解し配色方についても学ぶ。		4
5	〃		照明の特性と測定 色彩と照明			照明を取り扱う上で必要な、色再現の指標として用いられている内容を理解する。		4
6	〃		色彩の法的規制			日本工業規格（JIS）の測定方法、色彩関連 JIS、色彩の法的規制の例として安全色について学ぶ。		4
7	生産者の視点からの色彩		色材の基礎			色材には染料と顔料がある。まず、種類、特徴、性質などを理解し、着色の方法や技術も学ぶ。		4

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

8	〃	色の測定と表示 色の差の測定と表示	色を扱うときに生じる色の差について、工業的な面から具体的な色差の表示方法に関して学ぶ。	4
9		流行現象の理論と色彩の流行	デザイン特性の一つ、色彩の流行の役割と特質、また流行色がどう作られ、伝えられるかを学ぶ。	4
10		色彩の品質管理	色合わせの工程における色彩の品質管理の考え方を色の検査を中心に学ぶ。	4
11	カラーコーディネーターの視点	色彩の現状把握の目的と調査方法	色彩の現状把握の調査結果から得られる色彩特徴及び、色彩提案などの留意点について学ぶ。	4
12	〃	心を図る-心理測定法	色が人間の心理にどのように働くのかを探り、その量や強さの測定法を学ぶ。	4
13	〃	色彩を伝えるための情報の流れと変換	カラーコーディネーションの結果がどんな情報の変換が行われ、どんな点に注意が必要か学ぶ。	4
14	〃	色彩の心理的効果	目的にあった印象をもたらす色彩の心理的効果について一般的な傾向や属性による相違を学ぶ。	4
15	〃	カラーコーディネーションと配色 カラーコーディネーションの実例	重の色目や、ファッション業界で多用される配色用語、色と面積との関係などを事例と共に学ぶ。	4
その他				

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 都市デザイン 2（講義）			通期	教科担任：山本 幹雄（実務経験教員）	
学科名： 建築科		コース：		1 年	単位数： 4 単位
授業のねらい		建築系企業の経験を生かした指導をし、人々が生活する場である街という概念を理解し、その街を作り上げる要素を理解することで、より良い都市のデザインにつなげる。		前期 後期 合計	4H×15W = 60H 4H×15W = 60H 120H
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材		プリント・専門雑誌等			
評価方法		前期 課題 後期 課題		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	都市とは何か 街とは何か 都市と建築		都市とは単に人が集まり生活を行うものなのか。 都市の機能とは	4
2	街を構成するものの練習	近隣へのフィールドワーク 街並みとは 街並みを構成するものとは レポート		フィールドワークを通して自分の住む街を再確認する 街並みという考え方を理解する	12
3	空間	街を構成する大きな空間 空間と人の流れ 空間心理学		街を構成するスケールとは 街における空間の認識	8
4	歴史的街並み	歴史的街並みの実例研究 街並み保全の取り組みについて		歴史的景観の美しさを認識し、街並みの特徴を考える。	8
5	日本の街並み	日本における歴史的街並み 通り 政治・経済・宗教		色々な街並みを調査研究し、それぞれの特徴・美しさを考える 政治経済宗教による街並み	8
6	各国の街並み	西洋における街並み 広場、通り、 政治・経済・宗教		欧米、アジアの街並みの特徴を調べ、それぞれの特徴を捉える	12
7	近代における街並み	近代の街並みデザイン 現代日本の街並みデザイン		近代での街並みのデザインとそのコンセプトを調べ、人々の行動を考える	8
8	都市計画	都市計画とは 都市計画の考え方		都市計画とは何か 都市計画の用語 考え方を学ぶ	12
9	外構と街	外構と街並み 外構設計		建築物の外構とは その意味と利用方法	12
10	地域における街並みの見学	山形における街並みの構成見学 レポート		各自の調査対象を決め街並みを研究し、まとめ、発表する。	12
11	都市と人	都市と人の関係、街と人の関係 都市における人の流れ		都市間の人の流れ 街と街とのつながり	8
12	都市の未来	各国・日本における新しい都市デザインの在り方とは		新しい街並みの構成とは 現在の都市計画の流れと人の動きを考える	12
13	予備	演習等		補講	4
その他					

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： ビジネス実務 2（講義）			通 期		教科担任：八矢 由子	
学科名：建築科			コース：		2 年	単位数： 4 単位
授業のねらい		1 年次に作成したキャリアプランを実現していくために、具体的な就職活動準備を行い、自己実現（内定）を達成する。ビジネス実務は内定を得るためだけでなく、ビジネスマンとして成長するための学習でもある。ビジネスの基本である報告・連絡・相談を身につける。			前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格					教材費	
テキスト・教材		1 年次使用教材 『未来ノート』『マイロード』 専門学校生のための就職筆記試験対策問題集				
評価方法		前期 試験・課題提出・就職活動状況（模擬面接出席状況を総合する 後期 試験・課題提出・就職活動状況・出席状況を総合する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	2 年次の就職活動心構えと行動 春期休業中の就職活動まとめ			就職活動への意欲を高める	2
2	企業研究	インターネット、企業 PR 誌等を活用し、目指す業界の企業を知る。			未知企業への視野を広げる	2
3	教養講座	教養講座「社会保険：国民年金について」 自己 P R 作成			国民年金制度の理解 自分自身を言葉にする	2
4	メールのマナー 1	就職活動中のメールの使用についてマナーを知る。			適切な使用を理解し実践する。	2
5	メールのマナー 2	就職活動中のメールの使用についてマナーを知る。			適切な使用を理解し実践する。	2
6	電話応対 1	電話の基本マナー			受け手・かけ手の基本マナーを再確認する	2
7	電話応対 2	状況に応じた電話対応			就職活動を想定する。	2
8	就職試験対策 2	文章作成 作文・課題を読んだ意見文			読み手に自分の考えを伝える文書作成を意識する	2
9	就職試験対策 3	面接試験での応答			質問の受けとめ、自分の考えを言葉にする難しさを知る	2
10	就職試験対策 4	常識問題			得意分野の伸ばし、苦手分野を強化する	2
11	就職試験対策 5	自己 P R の完成			説得力のある内容に組み立てる	2
12	文書作成	社外文書 （内定礼状等）			社外文書様式を知り、礼状作成ができるようになる	2
13	訪問のマナー	一般的な他者訪問			社会生活のマナーとして習得する	2
14	ワーキングアクトベンチャー企業研究	事前に企業研究を行い、座談会では受け身ではなく積極的な参加を行う。			自分が知らない企業であっても、大きな出会いとなるチャンスである	2

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

15	ワーキング・アドベンチャー振返り		企業トップの話から、働くことの意義、喜びを感じ取る	2
その他	7月下旬 模擬面接実施 8月上旬 ワーキング・アドベンチャー 年間を通じて、就職希望者が全員内定するまで、面談・面接指導を実施 必要に応じて、オンライン面接・個別面接指導を実施 漢字の読み書きを継続実施			

時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	夏期休暇中のまとめ	長期休暇での活動まとめ これからの活動計画立案	未内定の学生は意欲を保持して活動を継続する	2
2	内定期間中の過ごし方	内定の意味を理解し、学校生活・社会生活全般を意識する	卒業までの期間は学生という立場だけでないことを意識する	2
3	職場の人間関係	公的な場で求められる社会ルール、気遣い	個人的関係、公的関係の違いを知る	2
4	電話応対 3	電話応対の応用 会社への電話取次	電話機を使うことで緊張感を持つ	2
5	電話応対 4	電話応対の応用 会社への電話不在時の対応	電話機を使うことで緊張感を持つ	2
6	訪問のマナー 3	アポイントの取り方から訪問	ロールプレーによりイメージを具体的に持つ。	2
7	訪問のマナー 4	名刺交換 お茶の接待・いただき方	ロールプレーによりイメージを具体的に持つ。	2
8	訪問のマナー 4	お茶の接待・いただき方 実践	日常ではお茶を煎れる機会が減っているため、全員実践する	2
9	慶弔 1	冠婚葬祭 慶事と弔事	自分の経験を思い出しながら学ぶ	2
10	慶弔 2	冠婚葬祭 慶事と弔事 祝儀袋・不祝儀袋の書き方	筆ペンを使用し作成する	2
11	慶弔 3	冠婚葬祭 会社の季節行事	次年度からを意識する	2
12	教養講座（卒）	1年生に対し就職活動アドバイスを行う	自経験を後輩への適切なアドバイスを行う。	2
13	就職活動交流会	外部講師による労働・社会保険等講話	労働者としての重要な情報を把握する	2
14	文書作成	季節の挨拶状	年賀等の季節の挨拶状	2
15	1年間の総括	今後の社会人生の目標を考える。		2
その他	年間を通じて、就職希望者が全員内定するまで、面談・面接指導を実施 漢字の読み書きを継続実施			

2022 年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： キャリア実習 2（実習）			後 期		教科担任：クラス担任			
学科名： 建築科			コース：			2 年	単位数：	2 単位
授業のねらい			外部組織での就労体験、ボランティア体験等を通し、他者とのコミュニケーション力や、組織内での責任、協調性を学び、就労意欲と職業観を養う。実習前後は、諸手続き・報告を滞りなく実行し、事務力を高める。就職年次は、前年度の課題を改善し、卒業後の職業人としての行動につないでいく。				前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格			特になし				教材費	
テキスト・教材			特になし					
評価方法			後期 所定時間の学外実習 レポート 報告を壮語して評価する				その他	
時数	単元		授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション		年度の実習概要説明 実習目的・実習規程				実習の目的を理解して臨む。卒業年次は、前年度の経験を踏まえ、課題改善に取り組む。	2
2	学外実習		実習前 指定の届け出を行う。 実習 所定の時間数以上を実習する。 実習後 所定報告書の提出					5 6
3	報告会		全校報告会 他学生に自分自身の実習内容・今後の課題等を報告する				プレゼンテーションのトレーニングの場であるとともに、他者の報告を積極的に傾聴し、自己の課題として共有する。	2
その他								